

Mini Quiz 1

説明変数・目的変数を標準化 [A (した / しない)] 線形重回帰分析によって得られた回帰係数は、「対応する説明変数が1増えたときの目的変数の増分」を表す。また、説明変数・目的変数を標準化 [B (した / しない)] 線形重回帰分析によって得られた回帰係数のうち、絶対値がもっとも大きいものに対応する説明変数は、目的変数にもっとも大きな影響を与えている説明変数であるといえる。

Ans. of Mini Quiz 1

説明変数・目的変数を標準化 [A しない] 線形重回帰分析によって得られた回帰係数は、「対応する説明変数が1増えたときの目的変数の増分」を表す。また、説明変数・目的変数を標準化 [B した] 線形重回帰分析によって得られた回帰係数のうち、絶対値がもっとも大きいものに対応する説明変数は、目的変数にもっとも大きな影響を与えている説明変数であるといえる。